

(別紙)

第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a b c
<p><コメント></p> <p>理念、基本方針、保育目標は法人のホームページに詳細に記載されており、門の入り口に「元気に挨拶のできる子・自然と遊べる子・痛みのわかる優しさのある子」が掲示され親子で目にすることができている。保護者には行事ごとに理念や保育目標などが丁寧に説明されている。職員の周知については、新人研修や研修時に説明している。創設者の開設の思いを重ねながらの職員への周知を更に工夫されたい。</p>		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a b c
<p><コメント></p> <p>経理面では月一度の税理士の関与により、経営分析を事業に反映させている。園長会議や主任保育士が参加する行政との会議等で地域の情報を得ている。行政より短期間保育や延長保育なども依頼され対応している。保護者の声や職員からも日々の保育を通して子育て環境の変化等も意識的に把握されることを願います。</p>		
3	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a b c
<p><コメント></p> <p>事務局でも利用率など把握しており、また税理士の報告を受け理事会でも検討がされている。職員を巻き込んだ日常的な経営の課題など話しあえる機会や、改善のための体制づくりも、今後の課題として取り組んで頂きたい。</p>		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a (b) c
<p><コメント></p> <p>専門機関である福祉コンサルティング会社と顧問契約を結び、国の施策から先取りする計画を立て取り組んでいる。周辺市町村のニーズや現場のニーズは、職員の声も取上げているので、国の施策にマッチングできるよう達成に向けた数値目標の設定など具体的に評価ができるような組立も今後の課題として捉えていただきたい。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a (b) c
<p><コメント></p> <p>年度計画は職員会議で意見交換をしながら合意のもとに文章化されている。取り組みの評価には具体的な成果を設定することが望まれます。回数や参加率、テーマにより保護者の参加率など把握でき、分析もしやすくなりますので工夫されたい。</p> <p>運営計画についても職員の声が反映できるように検討して頂きたい。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a (b) c
<p><コメント></p> <p>マンネリ化しないように現場の計画は普段の声や職員会議等で検討し事業計画が策定されている。内容により参加する職員が違う場合もありますが、職員の声が反映できるような仕組みを検討して頂きたい。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	(a) bc
<p><コメント></p> <p>事業計画や行事計画は、入園時、保護者会、クラス懇親会、園だより、ホームページにも掲載されている。特に保護者会には参加しやすいよう配慮されている。全体会では主任さんが説明され、クラス懇親会では担当保育士さんから年齢に応じた企画が詳しく説明されている。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a (b) c
<p><コメント></p> <p>P D C A サイクルに基づき日々の評価を行い計画に反映させている。参加しやすいように日中に行い問題点も共有している。行事後の反省会では問題点が改善できるように検討している。自己評価については保育内容の項目を実施している。今後の課題は評価結果の分析法を深めていきたいと述べている。</p>		

9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a (b) c
<p><コメント></p> <p>第三者評価は今回が初めてであるが、保育関係の評価は毎年取り組んでいる。背景にある奥深い課題を見つけ出すという分析方法を身につけることも今後の研究課題である。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a (b) c
<p><コメント></p> <p>園長としての役割や責任は定款や職務規定に明記されており、職員にも説明されている。有事の際や不在時の権限移譲も明記され、緊急時には連絡がつくようになっている。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a (b) c
<p><コメント></p> <p>法令遵守業務マニュアルには園長が遵守すべき法令が整備され、理解を深めている。また、町の園長会出席、中央研修会に参加、厚生労働省にも直接出向き、保育の動向について情報収集に努めている。職員への周知では一泊の研修を設け身近なリスクをワーク形式で法令の理解に取り組んでいる。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a (b) c
<p><コメント></p> <p>法人の長として意欲的に行動しており、いち早く情報も取り入れている。改善という言葉は使わないで、保育の質の向上は最優先して訴えている。組織内に具体的な体制を構築していくことも課題となっているので期待したい。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a (b) c
<p><コメント></p> <p>税理士から毎月の収支報告がされている。経営改善については理事会で検討している。経営は人材があつての事を主にしており、職員の家庭を大事に、お互いに助けあうことを第一に考えて運営している。その為に人材は余剰に確保し、育児が落ち着いたなら常勤に戻す等、長く働ける職場づくりをしている。職員の協力関係も良い。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	Ⓐ b c
<p><コメント></p> <p>人材確保については人脈を活用し、知り合いから知り合いに声掛けし安定した確保ができています。人材育成もされているが、時代背景を考え、組織人としての自覚の向上や専門職の配置など、基本的な人事管理の考え方や、具体的な計画等、整備されることを期待します。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a Ⓑ c
<p><コメント></p> <p>「望ましい保育士」「業務に関する貢献度評価」は取り組んでいるが、総合的な人事管理の面からは不備も多く、人事基準・専門性の職務遂行能力・スキル水準・職員が将来像を描くことができるようなキャリアパスの検討など深められたい。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	Ⓐ b c
<p><コメント></p> <p>育児休暇も取れ、子育て中は非常勤勤務となり、子育てが終わったら常勤になれるという安心感が保たれている。有給休暇もとりやすく職員同士のお互いさまの協力体制ができています。職場復帰後は「浦島太郎にならないように」社会の動向も伝え、自分の位置を確認できるようにしている。個別面談や相談も随時できているが、風通し良くオープンな面談体制作りも検討されている。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a Ⓑ c
<p><コメント></p> <p>各自の目標を立て、面談やコミュニケーションを基に取り組んでいるが、更にレベルアップするために、目標管理の進め方を職員含めこの評価項目解説編から学んでいただきたい。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a Ⓑ c
<p><コメント></p> <p>教育計画の中に、期待する職員像が記載され、実技研修や支援研修OJTが取り組まれ、外部研修では報告書や伝達もされています。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	Ⓐ b c
<p><コメント></p> <p>外部研修も積極的に参加されている。全職員が法人の合同研修に参加しており、共有し合えるものが多い。内部研修では講師の立場になりモチベーションも上がっている。個々の研修録には沢山記載され、研修環境が整っていることが理解される。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について	Ⓐ b c

	体制を整備し、積極的な取組をしている。	
<p><コメント> 養成校のプログラムにより実習を沢山受けている。実習受け入れマニュアルや関係書類も整備されており、指導者研修にも参加している。感想文から子ども達も喜んでおり沢山の学びを得ていることが把握できる。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	㉠ b c
<p><コメント> 安定した経営をしていく為に事業報告は毎月更新している。大きな行事の前にはホームページに公開し呼びかけている。ビジョンや園だよりも公開し園児の様子が分かるようにしており、保護者会は年3回直接話し合える時間を確保している。第三者の苦情相談委員の連絡日もお知らせしている。役員さんからも意見を伝えてくれている。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	㉠ b c
<p><コメント> 税理士・会計監査人も配置しており内部監査もできている。ホームページ掲載前には必ずチェックしてから掲載している。税理士や社会保険労務士の経理・労務管理は出来ており、業務マニュアルに職務分掌や役割と責任を明示している。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	㉠ b c
<p><コメント> 年間の行事や大きなイベント時には地域の方もお誘いしており100名くらい参加することもあり地域に根付いた保育園になっている。老人クラブの招待、デイサービス施設訪問、未就学児の支援や学童保育や児童館も併設しているので卒園した子ども達も懐かしそうに集まって来る。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	㉠ b c
<p><コメント> 学童や児童館では元教員の方が学習支援を行っている。行事には地域のボランティアや中学・高校生のボランティアも多く参加している。就学体験学習は積極的に受け入れており、今後は受け入れて態勢の強化と支援の質の向上が課題として取り組んでいる。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等	㉠ b c

	との連携が適切に行われている。	
<p><コメント> 地域の関係機関との連携は地域のまち作りにも貢献しているという意識を持ち、関わりを大切にし、ニーズに応じた活動をしている。関連資料は職員にも公開している。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a (b) c
<p><コメント> 園長会議でニーズを把握している。子育てニーズに関しては役場の方と交流し、保育園を見に来ることもある。園に隣接の子育て支援センターとの交流もあり、地域ニーズ等を把握している。地域住民からの相談等も随時受けている。</p>		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a (b) c
<p><コメント> 学童保育や児童館を併設している。災害時の避難場所に指定されている。益子町の陶芸教室の協力を頂き親子陶芸を年2回行っている。地域の方々から集まれるイベントがあるので楽しみにしているという声も出ている。地域の役員も兼ねているので継続的に民生委員との連携も取れており、保育園の機能を地域に還元できることも伝えている。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	III-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	(a) b c
<p><コメント> 子ども達の食事風景は、穏やかで、落ち着いて食べており、笑顔が多く、話をしている子の会話を良く聴いている。お代わりもざわつかず待てる子が多く、残食もなく、先生方の話し方も穏やかであり、お客様への会話も自然にできており社会性が育成されている。</p>		
29	III-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a (b) c
<p><コメント> トイレの中は清潔がたもたれ、男女一緒のトイレであるが、カーテン等で仕切りができプライバシーが保たれている。また、利用時間も交代で男女が一緒にならないよう工夫がされている。</p>		
III-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	III-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	(a) b c
<p><コメント></p>		

行政の窓口にもパンフレットを配布している。ホームページにいろいろな行事も掲載されている。見学や体験入園も受け入れている。

31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a b c
----	--	-------

<コメント>

保護者には機会があるごとに変更事項を伝えている。重要事項については保護者が理解できるように詳しく説明し、同意を得ている。

32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a b c
----	---	-------

<コメント>

クラスの先生から情報を得て早めに声掛けし、相談や悩みを聞いている。保育利用が終了した後も相相談や学校からの問い合わせに応じ、転園後も園児や保護者の相談に乗れるきめ細かな体制が整えられている。

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。

33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a b c
----	---	-------

<コメント>

子ども達がどのように満足しているか、子どもの活動状況から満足度を反省し記録に残している。保護者懇談会を年3回設け、保護者からの意見も聴収している。取り組みが子どもの心をどのように育てているのか、成長ぶりを分かりやすく伝えている。

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a b c
----	--------------------------------------	-------

<コメント>

苦情解決の体制はできており、苦情対応、意見や要望等の文書配布も行っている。クラス役員に、「何かあったら知らせてほしい」と頼んでいる。個々の声や苦情内容はファイルに綴り、振り返りを行っている。第三者の相談件数は無い。今回のアンケートから連絡帳を希望する声もあるので回答できるよう検討されたい。

35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a b c
----	--	-------

<コメント>

相談事業の周知はされており、体制と役割は規定されている。保育室での相談が困難な場合は事務所で対応している。相談しやすい環境整備が検討されている。

36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a b c
----	---	-------

<コメント>

相談件数は少ないが対応ファイルには事後の対応が記載されている。業務マニュアルの中に苦情や相談を受けた時の対応マニュアル等が整備されており、職員への周知方法もしっかりと行われている。

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	Ⓐ b c
<p><コメント></p> <p>安全確保についてのマニュアルが作成されている。対処事例が掲載されており、連絡体制や事故後の対処が速やかにできるよう、看護師が駆けつけてくれる体制ができている。落ち着いても必ず家族への連絡と受診後の状況を家族に報告している。職員にも幼児の事故事例の研修がされている。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	Ⓐ b c
<p><コメント></p> <p>看護師が配置され年間保健計画の整備、感染症予防と対応マニュアルも整備されている。職員向けには職員会議を利用して情報を提示している。週2回巡回し子どもたちの状態を観察している。食事前にはアルコールでの手指消毒を行っている。子ども達の個人タオルは毎日交換している。感染症発生時には行政にも報告している。お便りにも情報発信している。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	Ⓐ b c
<p><コメント></p> <p>耐震は1階で確保されている。障害物もなく庭も広く運動場もあり避難の場所が確保されている。消防署の協力を得て毎月の訓練を通し子ども達の意識も高まっている。火災報知機も整備され、緊急時の連絡体制も一斉メールで配信し、配信確認も行っている。保護者への連絡体制は毎月の一斉メールで確認し合っている。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	Ⓐ b c
<p><コメント></p> <p>保育マニュアルは、保育理念、保育方針、保育目標に沿って、保育園の全体的な計画が記載され、年間計画、月の計画、一日の計画が策定されている。保育内容から、保育における養護と行事の中から（年齢に応じた教育の視点で何を学んで欲しいのか）教育を読み取ることができる。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ b c
<p><コメント></p> <p>年齢に適切であるか日々の反省から見直しをしている。保護者からの意見・感想を得て保育に反映できるように主任と話し合い職員の同意を得て改訂をしている。末尾に改定年月日が記載をすることで質の検討を取り組んでいることが把握できる。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	Ⓐ b c

<p><コメント></p> <p>保護者からのアセスメントや入園時の個別面談を通してニーズを確認し、子ども達のアセスメント表に基づき毎月記載している。個別の指導計画に反映させ保育実践に繋げている。連絡ノートや園だよりを通して、食事の大事さや集団での取組などお知らせし、保育園での生活を保護者へも詳しく伝えしている。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	㉠ b c
<p><コメント></p> <p>成長が早いので3ヶ月、6ヶ月に1回、項目に沿ってアセスメントを見直している。指導計画は職員間で行っている。変更の背景や周知方法の在り方など、実施方法の評価と計画の見直し等含め、手順を組織として定めている。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	㉠ b c
<p><コメント></p> <p>子どもの発達状況や生活状況等は、児童票に記録され成長ぶりは一目で分かるようになっている。個々のケースについても職員会議で共有している。記録の書き方に差異が生じないように園長、主任、副主任により確認を行っている。子どもの一人ひとりの成長を大切にとらえ記録から読み取れる。食事を共にした時に、体重も身長も伸びたよと競い合って話しかけられ、成長を喜んでいる。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	㉠ b c
<p><コメント></p> <p>ここでは、個人情報保護と情報開示の観点から管理体制の整備を求めています。園の運営規定に個人情報の取り扱いについての記載があり、保管に関しては園長、主任保育士が管理している。これらの規定は職員会議等で職員にも周知されている。園児、職員の肖像権に関しては年度当初に確認書の提出がなされ同意を得ている。</p>		

A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	㉠ b c
<p><コメント></p> <p>保育所理念には5点掲げ、基本方針には職員の規範行動が示され、保育目標には①元気で挨拶できる子②自然と遊べる子③痛みの分かる優しさが述べられている。これらを踏まえて全体的な計画（保育過程）が策定され、職員が子どもの発達過程、家庭の状況等を踏まえ編成している。</p>		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	㉠ b c
<p><コメント></p> <p>建物は木造で木のぬくもりもある平屋である。日当たりも良くコの字の設計で室内の温度、湿度、換気、音の管理には適切な状態を保持できるようになっている。園内、外、遊具の定期点検も実施しており、外部調査で安全チェック機能を高めている。室内の衛生環境では、次亜塩素酸ナトリウム等で除菌、消臭が行われ、最善の状態を保つよう安心安全に努めている。仕切りがカーテンという構造</p>		

上、各クラスの活動時の工夫がされている。		
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	㉠ b c
<p><コメント></p> <p>アセスメント表や個別の面談記録、日々の保護者との会話を通して一人ひとりの子どもの発達過程、家庭環境の情報の把握に努めている。子どもの欲求を受け止めるため、言葉かけや、対応を心掛け個々に応じた保育が実践されている。</p>		
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	㉠ b c
<p><コメント></p> <p>子どもの状態に応じて無理なく生活習慣が身につくよう援助を行っている。排泄時、登園時の個別の荷物の整理、着脱等、主体性の引き出しに努め、子どもが理解して取り組めるよう環境を設定し、見守り、言葉かけをしながら達成感を高めている。</p>		
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	㉠ b c
<p><コメント></p> <p>理念や基本方針・感性を育む保育を目指し保育している。未満児、以上児共に園庭や園庭の周りの雑木林の自然の中で遊ぶ時間を多く取り入れ、外遊びと休憩の時間配分ができています。外で駆け回る姿や、何やら見つけた数人の子どもの姿から人間関係が育まれているのを感じ取れる。</p>		
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㉠ b c
<p><コメント></p> <p>個々の個別計画を作成し、成長過程に応じた保育に努めている。連絡帳、保護者との日々の会話を通じて家庭との連絡を密に、安心して一日を送れるよう環境整備に取り組まれている。0歳時の部屋はカーテンで仕切られ、各児のベッドが配置されている。抱かれた3カ月児の反応に応答的な関わりをしており、ゆったりした時間の流れを感じ取れました。</p>		
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㉠ b c
<p><コメント></p> <p>探索活動も活発に行えるようになり、環境の設定に努めている。その場面に適切に言葉かけをすることで、安定した気持ちで遊びが発展していくよう努めている。家庭との連携は日々の活動、表情を保護者に伝え、また、家庭での様子も把握し、子どもの状況に応じた保育内容の展開に努めている。</p>		
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㉠ b c
<p><コメント></p> <p>3歳以上の子には、各年齢に応じ興味、関心が高められる活動を提供している。協力して何か一つのことをやり遂げることも覚えるために体操教室、サッカー教室、英語教室など外部の人との関わり</p>		

を広げている。地域とのふれあい活動を通じ、小学校への繋がりにも努めている。ホームページや掲示板から子ども達の様子も、保護者や地域の方に伝達にも努めている。		
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a ⑨ c
<p><コメント></p> <p>医療機関からの診断書等の確認のもと、児への環境設定に努め、成長の記録を残している。医療機関、専門機関からの助言を受け保護者から説明を受け、児にとって安心できる環境作りに努めている。研修参加により必要な知識や情報を得て、保育所全体で定期的に話し合う機会を設け、組織的に取り組んでいる。個々の状態の把握が確かではない場合もあり、相談・援助していることやプライバシーに配慮した取り組みも行われている。構造上配慮が必要な個所もあり今後の課題となる。</p>		
A⑩	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a ⑩ c
<p><コメント></p> <p>保育時間が長い子どもに対して、ゆったりと過ごせるよう保育士が密に接し、おやつ等は子どもの嗜好に配慮し、穏やかに過ごせるよう努めている。保護者との連絡もすぐ取れるよう担任以外の職員間での申し送り引き継ぎも適切に行っている。保護者の仕事の都合で延長保育の場合も保護者と連絡を密にとり、対応されている。</p>		
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a ⑪ c
<p><コメント></p> <p>各小学校との便り交換や幼保小連携協議会に参加するなど、情報の共有や交流を図っている。保育所児童保育要録も確実に作成され、小学校へ提出している。年長児は、保育活動の中で文字や数字等生活と遊びを通じて、自然に子ども達の知識として学びにつながっている。就学に向けて活動する等、子どもが小学校以降の生活について見通しを持てる機会を提供している。</p>		
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a ⑫ c
<p><コメント></p> <p>健康管理に関するマニュアル、計画、記録等健康管理の実施体制・実施状況が確認できます。保健計画が策定され健康観察を日々行い一人ひとりの子どもの健康状態を把握している。既往症、予防接種の個々の記録を随時確認している。保護者へは参観日、クラス懇談会、個別懇談時に子どもの健康に対する方針や取り組み、また、感染症罹患児数等、園の状況の詳細を伝えている。SIDS啓蒙ポスター掲示など、情報の提供にも努めている。</p>		
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a ⑬ c
<p><コメント></p> <p>年二回の健康診断、歯科検診を実施し全園児が受診するよう徹底している。その記録を残し、また、保護者へも文書にて健康診断、歯科検診の結果を配布し園と保護者が子どもの健康を共有し、日々の健康管理に活かせるよう図り、疾患があった場合日々の保育の中で確認できるよう努めている。</p>		

A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	Ⓐ b c
<p><コメント></p> <p>「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」を取り入れ、医師の指示のもと一人ひとりの園児のアレルギーに応じた除去食提供等に努めている。アレルギー児の献立は個々に作成し保護者に配布している。研修会での知識をもとに適切な対応ができるよう体制を整え、保育所での生活に配慮している。</p>		
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	Ⓐ b c
<p><コメント></p> <p>食に関する豊かな経験ができるよう、保育計画に位置付け、食育計画を作成し、健康、成長につながる食の提供に努めている。地域交流の中で、田植えや、野菜作り、採取やクッキング活動を取り入れ、子どもが食に関心、興味をもって食への意識が高まるよう努めている。個人差や食欲に応じて、量の加減ができるよう工夫し、楽しんで食に取り組めるよう努めている。</p>		
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a Ⓓ c
<p><コメント></p> <p>食育計画を策定し、月一回の給食会議を通じ、子どもが美味しく安心して食べることのできる食事の提供に努め、残食の確認に努めている。検食を通しその日の調理に安全や食べやすさ等反映させ、記録として残し献立、調理の工夫に反映している。地域の食文化や行事食、季節感ある献立等となるよう調理員、栄養士等が工夫し、子ども達の食事の様子を見たり、話を聞いたりという機会を積極的に設けている。</p>		

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	Ⓐ b c
<p><コメント></p> <p>家庭と適切な連携を図り子どもの発達過程や保育の方針や意図について保育参観日、保護者会、クラス懇談会、個別懇談を通し家庭の状況の把握に努め、保護者と情報交換を行い、相互理解を図っている。家庭の状況や、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録に残している。連絡帳や、毎日の保護者との会話の中でも子どもの成長を伝達し共有し、保護者支援に努めている。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	Ⓐ b c
<p><コメント></p> <p>個別懇談や随時保護者の相談を受け、その都度園長、副園長、主任保育士、担任、看護師等適切な対応ができるよう努めている。保護者の就労に配慮し個別懇談の日時も保護者の希望の日程で調節</p>		

し配慮している。育児相談記録として記録に残し、また、職員間でも共有し、保護者への支援に努めている。

A⑱	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	㉑b c
----	--	------

<コメント>

児童虐待を発見しやすい立場にあることを自覚し、「児童虐待の予防」「児童虐待の防止」「児童虐待を受けた児童の保護及び自立支援」に協力する努力義務の規定に基づき、マニュアルの整備、職員研修会へ参加等、虐待への速やかな対応ができるよう体制を整えている。定期的に町や保健センターとの連絡、情報交換を通し、子どもの心身の状況、家庭での教育の状況の把握に努め職員間での共有に努めている。

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a㉒c
----	---	-----

<コメント>

定期的に職員は記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に振り返りを行い自己チェックに沿って評価し、改善や専門性の向上に努めている。自己評価をもとに園長との随時の面談の機会を定期的に設定することに今後期待される。